

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697300020
法人名	社会福祉法人 恵誠会
事業所名	グループホーム 花神荘ひまわり
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町後田2543番地1 (電話) 0994-65-7667
自己評価作成日	令和4年1月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

GH花神荘ひまわりは、周りに畑があり自然に囲まれたのどかな場所にあります。また近隣に、食品や必需品を買い物できる店もあり、駐在所や歯医者もあり便利であります。またバス停も施設前にあり交通の便も良いです。体調面では主治医の病院も町内にあり、定期的に訪問診察も行います。また突発的な診察もお願いでき、安心できる点であります。同敷地内には同系列のGHもあり、日中屋外で一緒に過ごすことも多いです。入居された皆様もゆっくりとした空間の中で、できるだけ本人のペースで過ごせるように努めています。季節ごとにホーム内のイベントも計画しています。花見、七夕、敬老会、クリスマス、初もうで、節分、気候が良ければドライブなど行っています。そして地域の振興会の理解や協力も頂いています。今後も入居者や家族の皆様にGH花神荘ひまわりに入所してよかったと言われるGHを目指してまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当施設は、田園地帯で大きな道路が通り、バス停があり、交通の便もよく、又近隣に大きなスーパーマーケットや駐在所、コンビニ、歯医者、協力医療機関や母体特別養護老人ホームがあり、複数の高齢者福祉事業を展開している。同敷地に同グループのグループホームもあり、地域の連携も取りやすく、便利な位置にある。
- ・協力医療機関と緊急時の24時間対応が構築され、利用者家族の安心につながっている
- ・地域振興会の協力によりホームの情報を発信したり、地域の情報ももらい、地域交流ができています
- ・敷地が広く地域の住民に駐車場を開放している。
- ・職員に活気があり管理者も資格取得や研修会参加を支援し、サービスの質の向上を目指している。
- ・利用者の残存能力の維持や楽しみのためにいろいろな新しいレクリエーションを取り入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者や家族の笑顔を大切に、優しさや思いやりのある介護支援をモットーに、また地域との輪を広げられるよう職員皆で努めています。理念も事務所に貼り、出勤時に確認できるようにし、定期的に確認しあっています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念をパンフレットに掲載し、事務所のタイムカードの前に掲示し、出勤時や職員会議で振り返り確認し、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回GH便りを近隣振興会長宅へ届け、振興会の回覧板でGHの生活状況や活動を紹介しています。またGHの駐車場を開放しており、近隣の方が時々車を駐車したり、犬や猫の散歩道になったりしています。	月1回「ひまわり便り」を振興会に持参し回覧板で地域に回覧してもらって、生活状況や活動を紹介している。例年は十五夜や鬼火焚き等の地域行事に参加し、法人の夏祭りには地域の人も集まっていたが自粛している。野菜の差し入れをいただいたり、駐車場は地域の人に開放して日常的に交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会に来られた地域の方や入所申し込みに来た方等から介護について相談を受けることもあります。その都度、分かりやすいように説明する事を心がけています。またGHでの生活状況を確認もして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>以前は2か月に1回運営推進介護を開催していましたが、コロナの流行もあり現在中止していません。役場にも承諾を得ております。</p>	<p>コロナ禍で2ヶ月毎に開催していたが、役場の承諾をもらって現在は委員宅を訪問し、口頭で現状報告や取り組みや課題を伝えて意見や提案をもらっている。意見はサービス向上に活かしている</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>以前は運営推進会議の場で連携も図れていましたが、コロナの点もあり、運営推進会議は中止しています。それでも役場へ行ったときにGHの現状を話ししたりしています。</p>	<p>窓口訪問や電話で、現状報告等を行い、意見や提案をもらっている。協力関係はできている。福祉課との連携もできている。行政の研修はコロナ禍の為、開催されていない。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関は日中鍵を開け、いつでも出入りが出来るようにし、好きな時に屋外に出かかっています。身体ケアに関しても拘束になることはせず、職員全員で身体拘束はしない心がけで支援行っています。</p>	<p>3ヶ月毎に、各ユニットで身体拘束廃止委員会や研修を開催し、職員は拘束について具体的に身体や言葉の拘束のない支援に努めている。玄関の施錠はせずに、外に出たい利用者には、職員が同行して一緒に散歩をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>GHでの研修で虐待防止について話し合いを行っています。支援の中でも虐待のないサービスに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在対象者はいません。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関する事項は家族が分かりやすく納得してもらえるように説明を心がけています。家族が心配される退所時も利用者や家族との関係が一切切れるわけではなく、いろんな点で協力させてもらう事の説明も行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>アンケートも常時準備しています。また、家族の面会の時に何か要望等がないか、来て下さった時に話は聞かせていただいています。</p>	<p>本人からは日常の暮らしの中の会話から意見を聞き、家族からは面会時に思いを聞いている。申し送りノートに記録し、共通理解ができている。アンケートも常時準備している。衣類やスリッパ等の必要な物は購入下さいとの要望に運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	研修会でも職員に意見や提案をあげてもらっています。また、日常的に何か気づきがあると職員の声が聞かれるので、意見や提案を反映するように努めています。	月1回の職員会議や研修会で職員の意見が良く出される。支援に関することが多く、意見は随時受けて、職員で話し合い、職場環境の向上に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回勤務評価表にて、従業員の評価を行っています。その評価が賞与や昇給につながるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修にも参加し（コロナで中止の時期もありました）研修に出ていない職員にも話や資料等で説明しています。普段の生活の中でも介護技術が不足している点があれば指導行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	知人で同業者の方と連絡を取り、情報交換も行い介護サービスについて参考にさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>顔を覚えて頂くことを念頭に置き、利用者の不安を少しでも減らせる事ができればと、利用者より話を聞かせて頂き、利用者の安心感に繋がられるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の大半は、GHでの生活に慣れて怪我や病気等せず不安なく過すことを望まれることが多いです。その気持ちに添えるように入居者の支援に努めています。ご家族にも遠慮なく面会に来て下さることをお話しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者や家族のに生活の中での希望を聞かせて頂き、必要な支援を確認し大事な点や対応方法ある時は確認して利用者のサービスに繋がられるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごしていく中で、利用者の出来ることを把握し、無理のない範囲で洗濯ものたたみや軽作業を一緒に行っています。散歩などしたい事がある時は希望に添って行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方も定期的に面会に来て下さり一緒に過ごす時間を持って下さっています。その結果、GHでの生活状況を理解して下さり、その結果GHでの生活状況を理解している部分があると思います。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の方より希望があれば個別にドライブにも行き、自宅周辺を見たりして気分転換を図っています。	コロナ禍の為、自粛しているが、利用者の希望で個別に受診の帰り等にドライブで車中から自宅やコスモスや桜を見物している。電話の取次ぎをしたり、手紙の支援をして、関係性の継続を図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士で相性が良い悪いもあります。入居者が孤立せぬ様に職員が間に入り、関係性を少しでも持てるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	体調面でも長期入院による退所された方でも、時々面会に行くように努めています。又買い物時に家族の方と会うこともあり、状況を確認するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者のペースに合わせて過ごし、GHで過ごす中で話を聞かせて頂き、どのように過ごしたいか聞いたり、人に言いづらい事もないか、顔の表情など普段の中でも気を付けています。夜間帯に利用者がお話して下さる事もあり、その情報も職員で共有しています。	日常生活の中でふと話されたことや入浴・夜勤時の会話から思いや意向を聞き、ケース記録に記入している。困難な場合は日々の生活の中で表情やしぐさ・行動から把握し、家族にも相談して本人の希望に添えるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人や家族に話を聞かせて頂き、また入居後でも普段の中で自然と出てくる生活歴など以前の事を教えて頂き、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一緒に過ごす中で普段と違う点が見られたときは、特にみんなで気づけるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族・職員で担当者会議や面会時に話を聞かせて頂き、また主治医の往診の意見を参考にしています。それらの意見を大事にし、より良いケアが出来るように介護計画を作成しています。	本人や家族に思いを聞き、担当者会議を開き、管理者・職員・看護師等の意見や主治医の意見を入れて、介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月で、見直しも6ヶ月で行っている。状況に変化があった時はその都度見直しして、現状に合った介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、その日の記録担当者が中心に記録を行い、全職員が見ることで確認しあっています。いつもと違うことが時は情報を職員同士で伝達し、必要な時は介護計画の見直しに繋げていけるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	「髪が切りたい・家に帰ってみたい」話が聞かれたときはその都度、対応できるときはニーズに添った支援も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物できるお店も多数あり便利です。駐車場も近くにあり「何かある時は連絡してください」と声をかけて頂いています。また、年に1回は消防署の立ち合いで避難訓練も行い、職員や入居者へのアドバイスもして下さいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	GHでは利用者の皆様に、統一した協力医療機関があり、月2回訪問して下さり診察行っています。診察時の主治医の言葉も家族に定期的に伝えています。夜間の緊急時の連絡体制も出来ています。	本人・家族の希望により、協力医療機関がかかりつけ医である。月2回訪問診療を受け必要時はいつでも往診してもらえる。他科受診は家族と職員が同行し、情報は共有している。緊急時の24時間医療連携体制が整っており、適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>同系列GHが同敷地内にあるので、協力医療機関の看護師が月4回は来られるので、何か尋ねたいことがある時は確認しアドバイスをいただいています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院されたときは利用者が少しでも安心していければと定期的に面会にも行き、病院先にもその都度、話を聞かせて頂き身体状態を確認していきたいと思えます。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前に、GHに入所後、身体の重度化があった時など、主治医の意見も参考に同系列の特養への移動をお願いするケースがある事を説明しています。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に向けた方針を説明し、同意書ももらっている。特別養護老人ホームも紹介している。状況が変化すると共に主治医・家族・管理者が話し合い、本人や家族の希望に添えるように支援している。協力医療機関の看護師との連携もできている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者一人ひとりの既往歴など確認する。また緊急時などの対応について、会議や随時必要な時に、その都度話を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難防災訓練を年に2回行い、消防署からもアドバイスを頂いており、同敷地内にあるGH花神荘と連携も図っています。施設にもスプリンクラーが設置され、また近隣の振興会長とも火事など緊急時の対応についてもお願いしています。</p>	<p>年1回消防署立会いの下、もう1回は自主訓練を地震火災を想定して、同敷地内の他のグループホームと合同で避難訓練を実施している。避難経路、避難場所、スプリンクラーの点検を行っている。近隣の緊急時の対応については振興会にお願いしている。法人本部からの協力体制もある。備蓄は水・米・カップラーメン・乾物・缶詰等がある。カセットコンロ等もある。法人でも備蓄をしている。発電機は検討中である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>プライバシーに気配りを行い、利用者の人格を損ねないように接しています。</p>	<p>法人やホームで接遇研修会を開催していたが、コロナ禍で自粛している。職員会議でマニュアルを中心に研修をしている。入浴・排泄・入室時の言葉かけに注意し、個々人に合わせて誇りやプライバシーを損ねないケアに取り組んでいる。申し送りは事務所で行い、呼称はさん付である。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>まずは話を聞くことが第一と考え（言葉に出さない心の思いを気にしながら）、利用者の話を傾聴するように心がけています。入居者の意見や希望を聞いて、それに答えられるように心がけています。</p>			
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の考えを第一に、日課はありますが無理強いしないように心がけています。</p>			
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>衣服は本人の着たい服を着てもらおう。髪型は出来る方は自分でクシを通して頂いています。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常生活の中で好きな食べ物・懐かしく食べてみたいものを聞かせて頂き調理したり、菜園で取った野菜を皆様にも成長の過程を散歩がてら見て頂き、喜んでもらえることもあります。	入所時に嗜好調査をして、菜園の野菜や旬の食材を使用して提供している。筍やつわの皮むき、台拭きを一緒にしている。行事食は正月のおせち、節分の海苔巻、クリスマス、誕生日のケーキ、敬老会、弁当箱でたべたりして、楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量を記録し身体の調子はどうか確認しています。水分補給の大切さを説明したり主治医の診察時に採血も行い、指導も受けています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は自分で口腔ケアできる方はして頂き、支援が必要な方は嗽だけでもして頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間を記録に残すことで排泄時間を把握し、必要な方はトイレ誘導損なっています。各食事前・食後の排泄の声掛けも行う。便秘がちな方もおられ、水分補給や出来る範囲の運動も声掛けさせていただいています。	排泄チェック表に時間を記入し、パターンを把握しトイレ誘導している。基本はトイレでの排泄である。自立に向けて取り組んでいる。夜間ポータブルトイレ使用の人もいる。リハビリパンツから布パンツに、リハビリパンツからパッドのみとなり喜んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録を行い便秘予防を図っています。食事・水分補給や運動の声掛けを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を行っています。無理強いさせぬ様に心がけています。体調不良で入浴が行えない時は清拭や更衣だけなど、その方に確認し行っています。	週3回以上の入浴で、全員入浴は好きである。体調によって、本人に確認取りながら、清拭や足浴も対応している。好みで入浴剤を使用している。脱衣所には暖房設備があり、浴室のすぐ横が広いトイレで便利である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者が自室でのんびりしたい・ベッドで休みたい時などはお部屋でゆっくりして頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	診察後の薬の処方で、変更で新しい薬が処方されたときは、皆に説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々体操や歌・屋外散歩など行い、また各季節の行事（ドライブ・花見・敬老会・クリスマス・初詣・節分）は皆さんが喜んでいただけるように計画を立てています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日はみんなで外に出て外気浴を行い、また気分転換のドライブも行っています。（個人ドライブも）</p>	<p>庭園が広いので天気の際は全員庭で外気浴や散歩をしている。コロナの為、外出は自粛しているが、正月には神社に行き車中でお参りした。希望により、ドライブも個々に行い、コスモスや桜見物もしている。コロナ収束後の計画もある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で小遣い程度のお金を管理している方もおられます。必需品をお願いされるときに買い物行っています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者より依頼がある時は、電話を自由に利用してもらっています。携帯電話を持参されている方も1名おられます。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>GHの建物は段差がなく手すりを設置し、車椅子様にトイレもあります。リビングは天井が高く天窓もあります。入居者の方が過ごしやすいようにバリアフリーの作りとなっています。</p>	<p>リビングは天井が高く天窓があり明るい。加湿器や空気清浄機で室内が管理され、換気にも気配りしている。ソファが置かれ行事写真が壁に飾られている。キッチンや事務所からは利用者の動きが観察でき、バリアフリーの室内は、安全に配慮した気持ち良い空間である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室にベット・クローゼット・タンス・洗面台・クーラーは設置しており、それぞれの方に自由に利用して頂けるようになっています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者や家族にお部屋を確認して頂き、それぞれが必要だと思われるものを持参し、また居室の入居者が過ごしやすいようにテレビや棚など設置しています。</p>	<p>全て洋室で、エアコン・ベッド・洗面台・タンス等が設置されている。必要なものを持ち込んでいる。テレビ・マッサージ器・テーブル・位牌・ラジオ・布団と、思い思いに身の回りに置き自分らしく暮らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は移動しやすいように段差を作らず、手すりを設置しています。夜間に備えて自然電灯の設備も設置しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない